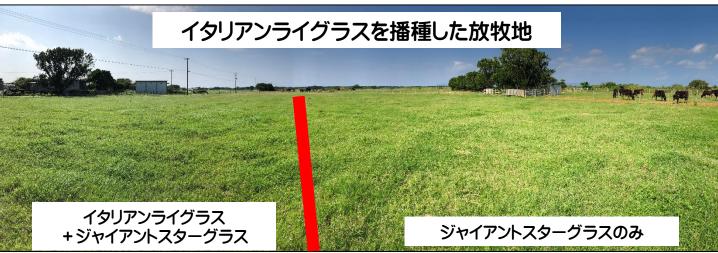
黒島における 寒地型牧草栽培のすすめ



令和元年12月作成 沖縄県八重山農林水産振興センター 農業改良普及課

イタリアンライグラスの特徴と利用例

イタリアンライグラスは、全国で栽培されている1年生のイネ科牧草で、黒島では、採草地・放牧地ともに利用でき、採草地では播種後2回の収穫が可能です。(※暖冬・干ばつの影響で、発芽不良・枯死の可能性があります)







黒島ではジャイアントスターグラス草地への追播が適しており、播種と施肥を同時に行います(機械または手撒き)。時期は11月が理想であり、播種が遅れると十分に生育しない場合があります。また、播種後に鎮圧を行う事で発芽しやすくなります。

【利用方法】

青刈り・サイレージ利用(採草地)、放牧利用

【施肥量】

採草地:N:P:K=10:10:10(kg) ⇒ <u>化成804</u> の場合 約2.8袋/10a

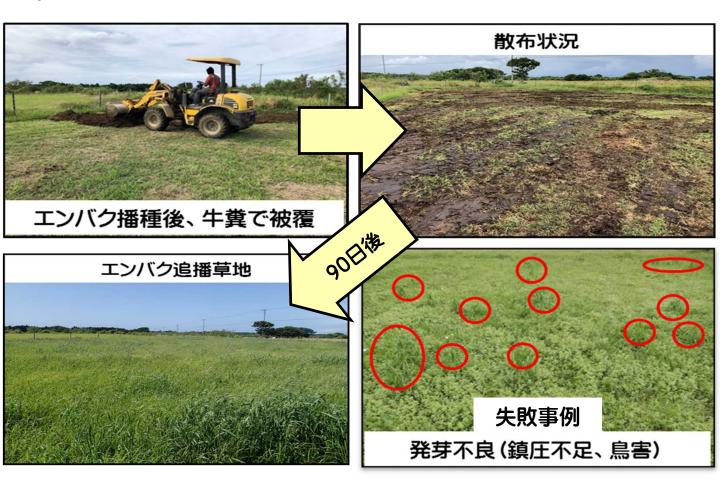
放牧地:放牧頭数、期間から排泄量を計算、不足する窒素(N)量を施肥

【収穫時期】

1番草 播種後80~90日、 2番草 1番草収穫後 約50日

エンバクの特徴と利用例

エンバクは、イタリアンライグラスと同様に全国で栽培されている1年生のイネ科牧草で、黒島では、採草地での利用が可能です。収穫回数は1回ですが、1番草の収量がイタリアンライグラスよりも多いのが特徴です。(※暖冬・干ばつの影響で、生育不良・枯死の可能性があります)



黒島では、<u>ギニアグラス採草地にエンバク種子を追播</u>して栽培します。 ただし、種子がイタリアンライグラスよりも大きいため、鎮圧が不十分だ と地面と活着できず発芽しない場合があります。黒島ではエンバク播種 後にカラスやクジャクによる種子の盗食も確認されています。

対策としては、播種後に牛糞堆肥を被覆する方法があげられます。盗食被害を防止するだけでなく、施用効果も期待できます。

【利用方法】

採草地:青刈り給与

【施 用】

牛糞堆肥 (完熟・未熟) を表面に散布して種子を被覆させる

【収穫時期】

1番草 播種後80~90日

寒地型牧草栽培のQ&A

Q:播種のタイミングは??

A:年内最終刈取後、7~10日以内に播種します。 既存の暖地型牧草が再生し始める前に、寒地型 牧草を定着させるためです。

播種時期が遅れると、気温が上昇し始める春と重なるため、暖地型牧草の生育が旺盛になり寒地型牧草の生育が抑制される恐れがあります。 黒島の栽培事例では、11月に播種すると栽培に成功するケースが多かったことから、11月播種を目指して準備すれば良いでしょう。

Q:イタリアンライグラスへの施肥量は? ^播

A:播種する際の施肥量は、以下の量を施肥します。

<u>窒素:リン酸:カリ = 10:10:10 (kg/10a)</u>

播種~1番草収穫までの期間は、約90日ですが 1番草~2番草収穫までの期間は40~50日です。

刈取間隔が短いため、牧草への硝酸態窒素の 蓄積を考慮し1番草収穫後の施肥量を減らしましょう。



播種のタイミングの事例



イタリアンライグラスの 発芽状況 (1月播種)

Q:放牧地では、どのくらい施肥すれば良い??

A:放牧地では、家畜の糞尿が養分として直接還元されます。そのため、 糞尿による養分 (窒素:N) が必要量を下回る場合、化学肥料を追肥します。

※肥料によって成分が異なるので、利用する化学肥料の成分表を確認してから施肥しましょう。

(例) 放牧頭数 10頭、放牧期間 30日、 放牧面積 60a の場合

(糞) 20.0(kg/日)×10頭×30日×0.42(N含有割合)÷100 ⇒ 25.2(kg/60a)

(尿) 6.7(kg/日)×10頭×30日×0.56(N含有割合)÷100

 \Rightarrow 11.2(kg/60a)

(必要なN量) 10kg/10a ⇒ 60kg/60a (家畜が排泄したN量) (糞)+(尿) ⇒ 36.4kg/60a

(不 足 N 量) 23.6kg/60a ※化成804の場合 約 6.6袋 /60a

沖縄県八重山農林水産振興センター農業改良普及課 TEL:0980 - 82 - 3497/FAX:0980 - 82 - 4142